

貯法：室温保存
使用期限：外箱、容器に表示

ブドウ糖注射液

ブドウ糖注射液「AY」5%

承認番号	20100AMZ00235
薬価収載	2016年4月
販売開始	2016年6月

注)注意－医師等の処方箋により使用する
こと

Glucose Injection “AY”

[禁忌](次の患者には投与しないこと)

低張性脱水症の患者

[本剤はナトリウムの欠乏により血清の浸透圧が低張になることによって起こる。このような患者に本剤を投与すると、水分量を増加させることになり、症状が悪化するおそれがある。]

[組成・性状]

※1. 組成

本剤は日本薬局方「ブドウ糖注射液」で、下記の成分を含有する(5w/v%)。

成分	1袋(500mL)中
精製ブドウ糖	25g

熱量：100kcal

2. 性状

本剤は無色澄明の液で、味は甘い。

pH	浸透圧比*
3.5～6.5	約1

※生理食塩液に対する比

剤形：水性注射剤

3. 製剤的事項

本剤に使用のプラスチックバッグの規格は次のとおりである。

	予備容量
500mL プラスチックバッグ	約175mL

(落差45cmで混注したときの混注可能量)

[効能・効果]

脱水症特に水欠乏時の水補給

注射剤の溶解希釈剤

薬物・毒物中毒

肝疾患

[用法・用量]

水補給、薬物・毒物中毒、肝疾患には通常成人1回5%液500～1,000mLを静脈内注射する。

点滴静注する場合の速度は、ブドウ糖として0.5g/kg/hr以下とすること。

注射剤の溶解希釈には適量を用いる。

なお、年齢、症状により適宜増減する。

[使用上の注意]

1. 慎重投与(次の患者には慎重に投与すること)

(1) カリウム欠乏傾向のある患者

[ブドウ糖の投与によりカリウムが細胞内に移行し、一時的に血清カリウム値が低下し、症状が悪化するおそれがある。]

(2) 糖尿病の患者

[高血糖を生じ症状が悪化するおそれがある。]

(3) 尿崩症の患者

[本剤には適切な水分、電解質管理が必要であり、本剤の投与により電解質等に影響を与え、症状が悪化するおそれがある。]

(4) 腎不全の患者

[水分の過剰投与に陥りやすく、症状が悪化するおそれがある。]

2. 重要な基本的注意

ブドウ糖の投与速度が速い場合に急激に中止することにより、低血糖を起こすおそれがある。

3. 副作用

本剤は使用成績調査等の副作用発現頻度が明確となる調査を実施していない。

副作用が認められた場合には、投与を中止するなど適切な処置を行うこと。

	頻度不明
大量・急速投与	電解質喪失

4. 高齢者への投与

一般に高齢者では生理機能が低下しているので、投与速度を緩徐にし、減量するなど注意すること。

5. 適用上の注意

(1) 投与経路

皮下大量投与により、血漿中から電解質が移動して循環不全を招くおそれがあるので、皮下投与しないこと。

(2) 調製時

1) 他の医薬品を混注して使用する場合には、医薬品相互の物理的・化学的变化に十分注意して行うこと。

2) 注射剤の溶解・希釈液として使用する場合は、ブドウ糖注射液が適切であることを確認すること。

(3) 投与前

1) 投与に際しては、感染に対する配慮をすること(患者の皮膚や器具消毒)。

2) 寒冷期には体温程度に温めて使用すること。

3) 開封後直ちに使用し、残液は決して使用しないこと。

(4) 投与時

1) ゆっくり静脈内に投与すること。

2) 高張液の投与は、血栓性静脈炎を起こすことがあるので、慎重に投与すること。

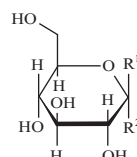
3) 血管痛があらわれた場合には、注射部位を変更すること。また、場合によっては投与を中止すること。

※[有効成分に関する理化学的知見]

一般名：精製ブドウ糖(Purified Glucose)

化学名：D-Glucopyranose

構造式：



α-D-グルコピラノース：R¹=H, R²=OH

β-D-グルコピラノース：R¹=OH, R²=H

分子式：C₆H₁₂O₆

分子量：180.16

性状：白色の結晶又は結晶性の粉末で、味は甘い。
水に溶けやすく、メタノール又はエタノール(95)に溶けにくい。

[取扱い上の注意]

1. 使用方法

- (1) 容器表面に水滴や結晶が付着している場合には使用しないこと。
- (2) 通気針は不要。
- (3) ゴム栓を保護しているシールがはがれているときは使用しないこと。
- (4) 混注する場合、注射針の刺針はゴム栓の周囲にある刺針部(凹部)を使用し、まっすぐ刺し入れること。斜めに刺すと、ゴム栓や排出口内壁の削り片が薬液中に混入したり、容器を刺通し液漏れの原因となることがある。また、同一箇所を繰り返し刺さないこと。
- (5) 輸液セットの瓶針はゴム栓の中央部の刺針部(凹部)にまっすぐ刺し入れること。
- (6) 容器の目盛りは目安として使用すること。
- (7) 本製品は、連結管(U字管)を用いたタンデム方式による投与はできないので、2バッグを同時又は連続して投与する場合は、Y字タイプの輸液セットを使用すること。

2. 安定性試験

加速試験(40℃、相対湿度75%、6ヵ月)の結果、通常の市場流通下において3年間安定であることが推測された。

[包装]

500mL×20袋(プラスチックバッグ)

※[文献請求先]

株式会社 陽進堂 お客様相談室
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号
☎ 0120-647-734

製造販売元

エイワイファーマ株式会社
東京都中央区日本橋浜町二丁目31番1号

販売元

 **株式会社 陽進堂**
富山県富山市婦中町萩島3697番地8号